

令和2年度 第1回 岡山県事業評価監視委員会 議事要旨

○開催概要

- 1 日 時 令和2年8月27日(木) 13:30~16:30
- 2 場 所 メルパルク岡山「芙蓉」
- 3 出席者 岡山県事業評価監視委員会 委員 7名
土木部 技術総括監
農林水産部 参与(農林技術)
事務局(技術管理課、農政企画課)
道路建設課、道路整備課、河川課、防災砂防課、港湾課、
都市計画課、耕地課、治山課、農村振興課

○議事概要

- 1 開 会
- 2 挨拶(土木部 技術総括監)
- 3 委員の紹介・委員長の選出
- 4 事前評価

(事務局)	令和2年度の事前評価対象事業の概要説明 (土木部関係13件) 道路事業 ①県道 備前牛窓線 備前市佐山 地内 工 種：道路改良(バイパス) 概 要：L=2,300m W=6.5(11.5)m 事 業 費：約9.1億円 事業期間：10年間 事業目的：交通の円滑化、備前市の産業拠点へのアクセス向上及び歩行者等の安全性の向上を図る。 評価結果：7A/5C ②県道 倉敷妹尾線 倉敷市福島～中帯江 地内 工 種：道路改良(バイパス) 概 要：L=1,600m W=6.0(18.0)m 事 業 費：約18.3億円
-------	--

<p>(事務局)</p>	<p>事業期間：7年間</p> <p>事業目的：国道2号と倉敷市中心市街地間の交通の円滑化、周辺道路の渋滞緩和及び歩行者等の安全性の向上を図る。</p> <p>評価結果：7A/5C</p> <p>③県道 新見勝山線 新見市高尾～新見 地内</p> <p>工 種：道路改良（バイパス）</p> <p>概 要：L=1,300m W=6.0(7.0～17.5)m</p> <p>事業費：約30.0億円</p> <p>事業期間：10年間</p> <p>事業目的：国道180号との接続改善による交通の円滑化、歩行者等の安全性の向上及び緊急輸送道路としての信頼性向上を図る。</p> <p>評価結果：7A/5C</p> <p>④国道313号 真庭市落合垂水～下市瀬 地内</p> <p>工 種：交通安全（自歩道整備）</p> <p>概 要：L=700m W=6.5(11.25)m</p> <p>事業費：約6.5億円</p> <p>事業期間：7年間</p> <p>事業目的：通学路の安全性の向上、歩行者等と自動車の分離による交通事故対策を図る。</p> <p>評価結果：7A/5C</p> <p>砂防事業</p> <p>⑤荒神堂川 備前市東片上 地内</p> <p>工 種：砂防</p> <p>概 要：砂防堰堤1基</p> <p>事業費：約6.5億円</p> <p>事業期間：8年間</p>
--------------	---

<p>(事 務 局)</p>	<p>事業目的：保全対象である人家 335 戸及び国道 2 号 (第 1 次緊急輸送道路) 等への土石流災害の 防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p> <p>⑥若宮谷川 赤磐市仁堀東 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 1 基 事 業 費：約 5.2 億円 事業期間：7 年間 事業目的：保全対象である人家 24 戸及び国道 484 号 (第 2 次緊急輸送道路) 等への土石流災害の 防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：7A/5C</p> <p>⑦中組川 高梁市落合町阿部 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 1 基 事 業 費：約 4.4 億円 事業期間：7 年間 事業目的：保全対象である人家 258 戸及び国道 313 号 (第 1 次緊急輸送道路) 等への土石流災害の 防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p> <p>⑧市場川 高梁市備中町布賀 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 1 基 事 業 費：約 6.9 億円 事業期間：8 年間</p>
------------------	--

<p>(事 務 局)</p>	<p>事業目的：保全対象である人家 73 戸及び県道新見川上線(第 2 次緊急輸送道路)等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p> <p>⑨同道谷川 新見市神郷下神代 地内</p> <p>工 種：砂防</p> <p>概 要：砂防堰堤 1 基</p> <p>事 業 費：約 3.5 億円</p> <p>事業期間：6 年間</p> <p>事業目的：保全対象である人家 29 戸及び中国自動車道(第 1 次緊急予想道路)等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p> <p>⑩ミョウケン谷川 真庭市中河内 地内</p> <p>工 種：砂防</p> <p>概 要：砂防堰堤 2 基</p> <p>事 業 費：約 3.0 億円</p> <p>事業期間：6 年間</p> <p>事業目的：保全対象である人家 14 戸及び県道垂水追分線(第 2 次緊急予想道路)等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p> <p>⑪本谷川 真庭市美甘 地内</p> <p>工 種：砂防</p> <p>概 要：砂防堰堤 1 基</p> <p>事 業 費：約 1.8 億円</p> <p>事業期間：5 年間</p>
------------------	--

<p>(事務局)</p>	<p>事業目的：保全対象である人家 70 戸及び国道 181 号(第 1 次緊急輸送道路)等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p> <p>⑫寺平川 真庭市蒜山初和 地内</p> <p>工 種：砂防</p> <p>概 要：砂防堰堤 1 基</p> <p>事業費：約 3.9 億円</p> <p>事業期間：6 年間</p> <p>事業目的：保全対象である人家 10 戸及び国道 313 号(第 1 次緊急輸送道路)等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：5A/5C</p> <p>⑬むしょうの谷 美作市山手 地内</p> <p>工 種：砂防</p> <p>概 要：砂防堰堤 1 基</p> <p>事業費：約 2.9 億円</p> <p>事業期間：6 年間</p> <p>事業目的：保全対象である人家 21 戸及びコミュニティハウス(指定避難所)等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。</p> <p>評価結果：8A/5C</p>
--------------	---

<p>(事務局)</p>	<p>令和2年度の事前評価対象事業の概要説明 (農林水産部関係3件) 農業農村整備事業</p> <p>①北川第1地区 笠岡市甲弩 地内 工 種：防災事業(湛水防除) 概 要：排水機φ700mm×1台 事 業 費：約3.7億円 事業期間：5年間 事業目的：湛水被害が増大している地域に排水機等の増設を行い、農作物等への被害を防止する。 評価結果：7A/5C</p> <p>②児島三五区5期地区 岡山市南区浦安南町 地内 工 種：防災事業(海岸保全) 概 要：根固工 L=717m 事 業 費：約5.1億円 事業期間：5年間 事業目的：堤防などの海岸保全施設を改修することにより、高潮・波浪・津波等による農地・農業用施設、人命や財産への被害を未然に防止する。 評価結果：8A/4C</p> <p>③二ツ池地区 倉敷市藤戸町藤戸 地内 工 種：防災事業(ため池) 概 要：ため池改修 1箇所 事 業 費：約1.6億円 事業期間：4年間 事業目的：老朽化した農業用ため池を改修することにより、決壊による被害を未然に防止するとともに、受益農地への農業用水の安定供給を図る。 評価結果：7A/4C</p>
--------------	--

(委 員)	<p>砂防事業を実施する箇所は、避難所がある箇所を優先的に選定するのか。</p> <p>また、保全区域に避難所があったら、別の避難所に行くよう防災上のアナウンスをしているのか。</p>
(防災砂防課)	<p>砂防事業では、近年土砂災害が発生した箇所や保全人家の多い箇所、避難施設がある箇所、要配慮者の利用施設がある箇所などを優先して事業を実施する方針としている。</p> <p>また、各市町村の危機管理部門において、安全で適切な避難所の利用がされるよう運用している。</p>
(道路建設課)	<p>令和2年度 審議対象事業の説明 (土木部関係2件) 道路事業</p> <p>①県道倉敷妹尾線 倉敷市福島～中帯江地内</p> <p>県道倉敷妹尾線は、倉敷市羽島から都窪郡早島町を經由し、岡山市南区古新田の国道2号に至る幹線道路であり、倉敷市中心市街地と国道2号を結ぶアクセス道路として重要な役割を担っている。</p> <p>本事業は、路線の起点部分である倉敷市福島から中帯江地内において、バイパスを整備するものである。</p> <p>事業区間の現道は未改良で全体的に幅員狭小であり、局所的に軽四自動車どうしのすれ違いも困難な箇所があるため、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生しており、円滑な交通の支障となっている。また、市中心部に立地する高校等へ通う多くの生徒たちが本路線を利用しているが、歩道が整備されておらず、朝夕のピーク時は交通が錯綜し、交通安全上も大変危険な状態となっている。</p> <p>さらに、国が計画している国道2号の渋滞対策が本格化すると、工事による国道2号の渋滞を避ける交通が周辺道路に流入することにより、倉敷妹尾線等の渋滞がさらに悪化する</p>

<p>(道路建設課)</p>	<p>ことが想定されるため、国道2号の渋滞対策が本格化する前に、本路線への流入交通に対応できるよう、事業区間の整備を行う必要がある。</p> <p>これら現道の課題を解消するため、現道拡幅及びバイパスの各案を検討し、経済性の観点から、都市計画決定されたルートを活用するバイパス案を採用した。現道の2車線改良済み区間を活用し、コストや事業期間の面で効果的な計画となるよう配慮しており、事業費は18.3億円、事業期間は令和9年度までを見込んでいる。</p> <p>本事業の効果として、現道の抱える課題の解消のほか、災害拠点病院への救急搬送時間短縮や、早島IC方面から倉敷美観地区へのアクセス性向上などが期待できる。</p> <p>費用対効果は、国の費用便益分析マニュアルに基づき、走行時間短縮、走行経費減少及び交通事故減少の3便益と、事業費及び維持管理費を合計した総費用から算出しており、$B/C=2.93$となっている。</p> <p>評価結果は、事業の必要性が7A、事業化熟度が5Cであり、事業着手したいと考えている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>バイパスができた区間は交通が分散しているが、出口で細い1本の道に戻ると、出口付近でかえって渋滞することはないのか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>バイパスの出口は、ある程度改良ができています箇所につなげることであり、問題ないと考えています。</p>

<p>(委 員)</p>	<p>将来交通量が9,500台/日とあるが、これは12,108台/日の中の9,500台を本区間に流して、渋滞を緩和するのか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>12,108台/日は、倉敷妹尾線の国道2号から東の区間の現況交通量である。 今回整備するバイパス部分については、将来交通量を推計した結果、9,500台/日が通行するという結果になっている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>現況交通量はどのくらいか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>実際に観測した数値はないが、将来交通量の推計を行う際に設定した現況交通量は、2,000台/日～4,000台/日である。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>バイパスを整備すると9,500台/日がバイパスを利用するということか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>そうである。現道を避けて、別の路線を通行していた車が、バイパスが整備されることにより、通行しやすいバイパスに集まり、交通量が増えるという推計になっている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>交通量については、B/Cの計算の根拠になるため、ある程度正確に言って欲しい。 バイパス部が農地を通るが、買収はできるのか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>できる。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>終点部分は都市計画道路として計画されている西田交差点まで行かず、大きく曲がって倉敷妹尾線に接続する計画となっている。西田交差点まで、都市計画道路のとおり延ばした場合と比べてB/Cや効果はどう変わってくるのか。 どうせだったら西田交差点につながるように整備した方がいいのではないか。</p>

(道路建設課)	<p>現時点では、(都決どおりの) 将来形との比較はしていない。</p> <p>本事業は、国が行う国道 2 号の渋滞対策と連携して行う事業であるため、コストを抑え、短期間で整備できる計画としている。</p> <p>このため、終点部は、現道の 2 車線改良済区間へ取りつけ、整備効果の早期発現を図ることとしている。</p>
(委 員)	<p>本箇所が整備されると、多くの車両が流れてくるのは必然であるため、入り口を何とかしないと国道 2 号上が大変なことになる気がする。</p> <p>早期に事業を完成させることも大事だが、交差点をきちんと整備することも大事だと思う。</p>
(道路建設課)	<p>整備後の計画として、今後、国や市も交えて検討したい。</p>
(委 員)	<p>説明された内容でご了解いただけるか。</p>
(委 員)	<p>了承。</p>
(委 員)	<p>本案件は、妥当であると認める。</p>
(道路建設課)	<p>②県道新見勝山線 新見市高尾～新見地内</p> <p>県道新見勝山線は、新見市西方を起点とし、JR 姫新線と並行しながら、真庭市荒田の国道 181 号に至る主要な幹線道路であり、災害発生時には、緊急輸送道路として、救援物資の輸送等を担う重要な路線でもある。</p> <p>現在、真庭市内において、月田本トンネル（仮称）の整備を進めているが、同トンネルの完成後は、新見市内の本事業箇所が、新見勝山線で唯一の未改良区間となる。</p> <p>本事業は、路線の起点部分である新見市中心部において、バイパスを整備するものである。</p> <p>現道は、国道 180 号と立体交差しており、国道 180 号の岡山方面とはランプ形式による接続となっている。一方、新見 IC 方面とは直接接続しておらず、狭隘な市道を経由する必要が</p>

<p>(道路建設課)</p>	<p>あるため、物流ルートとして本来の道路機能を活かしきれていない。また、事業区間は、2車線は確保されているものの路肩が狭く、経由する市道も狭隘であるため、自転車・歩行者が危険な状態に置かれている。</p> <p>さらに、平成30年7月豪雨や昨年9月の集中豪雨では、土石流等により全面通行止めとなるなど、緊急輸送道路として十分な機能を果たせず、防災上の課題が顕在化している。</p> <p>これら現道の課題を解消するため、バイパスや現道拡幅など3つのルート案を検討し、経済性、実現性、災害リスク等を考慮の上、バイパス案を採用した。</p> <p>バイパス延長は1,300mで、約半分の735mがトンネルとなっている。また、終点側では、中国自動車道の下を潜るボックスカルバート、JR 姫新線と一級河川熊谷川を跨ぐ橋梁を整備する計画であり、事業費は約30億円、事業期間は令和12年度までを見込んでいる。</p> <p>本事業の効果として、現道の抱える課題の解消のほか、木材運搬車両の安全かつ円滑な通行が可能となることによる木材産業の振興への寄与、緊急輸送道路としての信頼性向上などが期待できる。</p> <p>費用対効果は、国の費用便益分析マニュアルに基づき、走行時間短縮、走行経費減少及び交通事故減少の3便益と、事業費及び維持管理費を合計した総費用から算出しており、B/C=2.24となっている。</p> <p>評価結果は、事業の必要性が7A、事業化熟度が5Cであり、事業着手したいと考えている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>本事業は延長の割に事業費が大きいが、これはトンネルがあるためか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>事業区間の半分以上がトンネルであるため、事業費が大きくなっている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>3ルートを検討した中で、本ルートが一番経済性が優れているとの説明だったが、他のルートの方が総事業費が高いのか。</p>

(道路建設課)	他の2ルートは現道拡幅であり、多数の家屋移転が必要となるため、事業費は、採用したルートと同等以上になる。
(委 員)	事業費の中には、土地の買収費用も入っているのか。
(道路建設課)	入っている。
(委 員)	バイパス整備後も現道はそのまま残って使えるのか。
(道路建設課)	現道は残るが、県道としてバイパスを整備するため、現道の管理は新見市へ移る。
(委 員)	自転車や歩行者はトンネル部を通行できるのか。
(道路建設課)	トンネル部に自転車歩行者道を設置する予定はなく、自転車や歩行者は現道を通行していただく計画としている。
(委 員)	高低差はないのか。
(道路建設課)	トンネルには10m程度の高低差がある。
(委 員)	現道で土砂崩れがあり、利用できなくなったという説明があったので、バイパスを整備する区間は車だけではなく、自転車や歩行者も通る道路になると思ったが、それは考えていないのか。
(道路建設課)	緊急輸送道路は、災害発生時に救援物資や医療関係者を運ぶ経路であるため、まずは車の交通を確保することを考えている。
(委 員)	本事業は防災の観点が非常に強いため、本トンネル案を選ぶことが妥当であると思う。
	便益を算定する際に、大型車と普通車を分けて効果を算出するべきである。車の台数だけで評価すると、過小評価してしまう可能性がある。

<p>(委 員)</p>	<p>また、倉敷妹尾線の便益を算定する際の人口予測はどうなっているのか。</p> <p>この地域は岡山県の中でも人口が増加している地域だと思うので、便益を計算する際にそういう要因を考慮しているのか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>便益は、国のマニュアルに従って算定しており、将来交通量についても、国勢調査などによる人口推移等を反映して交通需要予測が行われているため、人口減少等も反映されていると考えている。</p> <p>また、交通量は、普通車と普通貨物車を分けて推計している。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>今回のトンネル案が支持されるべきであるという結論は変わらないと思うが、トンネルの出入口付近が災害の危険箇所になっていることをどのように評価し、線を引いたのか。</p> <p>また、出入口付近に土石流が発生しないような工事を追加する必要があるのか。</p>
<p>(道路建設課)</p>	<p>今回のルートは、終点側の土石流警戒区域は避けているが、起点側は急傾斜の特別警戒区域内であるため、今後、対策等について検討していく。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>もう少し検討したり、改善も検討して欲しいという意見もあったが、調整可能であれば対応して欲しい。</p> <p>この2件の内容でご了解いただけるか。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>了承。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>本案件は、妥当であると認める。</p>

5 再評価

(事務局)	<p>令和2年度の再評価対象事業の概要説明 (土木部関係6件、農林水産部関係1件)</p> <p>(1) 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業 道路改良事業</p> <p>①国道 313号 位置：真庭市下方地内</p> <p>(2) 再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業 道路改良事業</p> <p>②県道 水島港唐船線 位置：倉敷市玉島勇崎～浅口市金光町大谷地内</p> <p>③国道 429号 位置：加賀郡吉備中央町小森～久米郡美咲町西川地内</p> <p>浚渫土処理護岸建設事業</p> <p>④国際拠点港湾 水島港 位置：倉敷市玉島乙島地先</p> <p>児島湖流域下水道事業</p> <p>⑤児島湖処理区 位置：玉野市東七区地内</p> <p>広域営農団地農道整備事業</p> <p>⑥井原芳井地区 位置：井原市西江原町～芳井町山村地内</p> <p>(3) 知事が特に必要があると認める事業 道路改良事業</p> <p>⑦地域高規格道路 美作岡山道路 位置：岡山市東区瀬戸町塩納～勝田郡勝央町黒土地内</p>
-------	--

<p>(委 員)</p>	<p>児島湖流域下水道事業について、事業期間が長いうえ前回からほとんど進展していないようだが、事業の必要性について、周辺の人口の伸びや下水道の接続普及率などを、どう想定しているのか。</p>
<p>(都市計画課)</p>	<p>下水道計画としては、これまでの各市町の人口推計を基に、市町が実施している管渠の整備に合わせた終末処理量の増設計画を立てている。</p> <p>市町の管渠整備が現在、主に市街地中心部に比べて人口密度が低い周辺地域の整備を実施しているため、思いのほか流入汚水量が伸びていない。</p> <p>今後、そのあたりも含めて計画を見直していく必要があると考えている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>管渠を接続する自治体は計画についてどう考えているのか。</p>
<p>(都市計画課)</p>	<p>市町にも下水道計画があり、現在の計画のまま整備を進めるのか、他のもので整備すべきかといった、市町の中で計画の見直しもあり得ると考えている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>これから人口減少してくる中で、すべて整備するとなるとコスト採算が成り立たなくなり、ほかの手段も検討しなければならない時代に直面する。人口減少が急激に進んでいる状況を考えると、その辺の検討を始めたほうがいいと思う。</p>
<p>(都市計画課)</p>	<p>事業計画の見直しも含め、いただいた意見を検討しながら事業をすすめていきたいと考えている。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>水島港浚渫土処理護岸建設事業の事業費が増えているのは築堤の影響か。</p>
<p>(港 湾 課)</p>	<p>築堤の費用である。</p>

<p>(委 員)</p>	<p>事業化する時点では、築堤は想定してなかったのか。</p>
<p>(港 湾 課)</p>	<p>事業化する時点では計画してなかったが、今回搬入土量を増やすということで築堤を追加した。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>水島の産業としてどの規模を計画していて、そのために必要な港湾をどう整備していかないといけないのか、そういったところの提案が必要ではないか。</p> <p>再評価審議案県の抽出結果 (令和2年度再評価対象事業7件から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路改良事業 県道 水島港唐船線 ○浚渫土処理護岸建設事業 国際拠点港湾 水島港 ○児島湖流域下水道事業 児島湖処理区 ○道路改良事業 地域高規格道路 美作岡山道路

6 進捗状況報告

<p>(事務局)</p>	<p>再評価後2年を経過した事業の進捗状況報告(5件)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道路改良事業 県道 西一宮中北上線 位置：津山市下田邑地内 事業期間：平成20年度～令和3年度 進捗率：90% 2 道路改良事業 県道 目木大庭線 位置：真庭市大庭地内 事業期間：平成20年度～令和3年度 進捗率：94% 3 地すべり対策事業 地すべり防止区域 小角地区 位置：高梁市川上町上大竹地内 事業期間：平成20年度～令和4年度 進捗率：94% 4 林道整備事業 森林基幹道 泉山線 位置：苫田郡鏡野町養野～岩屋地内 事業期間：平成10年度～令和3年度 進捗率：78% 5 河川改修事業 一級河川 旭川(小倉工区) 位置：岡山市北区御津新庄～建部町小倉地内 事業期間：平成15年度～令和5年度 進捗率：78% <p>事業期間の変更の大きい事業報告</p>
<p>(防災砂防課)</p>	<p>3 地すべり対策事業 地すべり防止区域 小角地区</p>
<p>(委員)</p>	<p>質問なし。</p>

7 閉会